

学生からのコメント

初めまして。栗原研究室博士2年の臺信直人です。僕が4年生で研究室に配属されときのことを思い出しながら、研究室の活動と特徴について紹介したいと思います。

研究室では週一回、テキストを決めてセミナーをします。テキストは栗原先生とよく相談した上で皆さんの興味に応じて決められます。私が4年生の時はSerreの`Local Fields`や`A Course in Arithmetic`を同期の3人で読んで、整数論の基本的なことを勉強しました。当時は難しく、セミナーの準備も発表もかなり苦戦しましたが、先生、先輩方に教えてもらったりして少しずつ読んでいました。このセミナーを通して数学の力はもちろん、自分のプレゼン能力もかなり磨かれたのではないかと感じています。栗原研の特徴は、先輩方がみんなで4年生のセミナーに出席してくれることです。先輩方にわからないことを質問したり、アドバイスをもらったりして、ずいぶん助けてもらいました。

今年はコロナで対面でのセミナーができなかったのですが、オンラインでセミナーが行われました。いつものように黒板を使うわけにはいきませんので、用意した資料を共有してそれを説明する形で行われ、対面のセミナーとは違った工夫が求められました。オンライン上での発表も慣れてくるとおもしろく、オンライン飲み会も何度も行われました。オンライン飲み会は、先輩方の話を聞ける良いチャンスで、先生が退出した後いろいろと学生だけで話すことができました。現在では対面でのセミナーが戻ってきています。

栗原研にはセミナーだけではなく、様々なイベントがあります。毎年、春と秋には早慶戦の応援に行きます。夏には合宿に行き、数学にひたることが出来ます。残念ながら、今年はコロナのために、両方とも行われませんでした。来年はできるといいなと思っています。過去には



秩父や、伊東、山梨の富士近く、立科など、景色の綺麗なところで合宿しました。数学にひたる、と書いてしまいましたが、本当は一日中数学のセミナーをするわけではなく、周辺の観光地を回ったり、夜には盛大な飲み会があったりと盛り沢山です。あまり外出をしない私にとっては夏の楽しみの一つでもあります。

栗原研は先生、先輩方のサポートが本当に手厚いと感じています。整数論に興味がある方はもちろん、数学をじっくり、しっかり学びたいという方は誰でも充実した研究室生活を送れると思いますよ。是非一度見学に来てみてくださいね。学生で運営している”栗原研超公式サイト”を見ると様子がわかると思います。

教員からのコメント



栗原研卒業生達との食事会で

整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。

ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。そして下を見ると、なるほどあの部分はこうなっていたのか、とわかります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学

を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。

皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしく思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。